



## MBP（マキシマル バリア プリコーション）って？

MBPとは、CVCやPICCなどを挿入する際に、術者が、**キャップ、マスク、滅菌ガウン、滅菌手袋**を着用し、患者には滅菌された**全身用ドレープ**を使用して、無菌手技で行うことをいいます。もちろん、滅菌手袋を着用する前には手指衛生が必須です。

MBPは、CDC「血管内留置カテーテル関連感染予防のためのガイドライン」の中で強く推奨されている対策になります。当院では、中央材料室から払い出されるセットに、大きなシートをセットしてもらっています。しかし、残念ながらそのシートを使用されていない場合があります。MBPを実施した場合と小さなドレープを使用した場合とを比較すると、細菌の定着率、敗血症発症率が有意に低いことが報告されています。

もちろん、挿入後の管理も大切ですが、カテーテル関連血流感染を起こさないように、CVCなどを挿入する際にはMBPの実施をよろしくお願いします。



手指衛生は  
忘れずに！



文責：感染管理認定看護師 船原初美

脳梗塞を予防するためには、血液をサラサラにする薬の抗血小板薬・抗凝固薬があります。脳梗塞のタイプによって内服すべき薬は異なり、複数の薬があり、それぞれの特徴や特色が異なり、内服を管理する看護師にとって知っておく必要があります。

バイアスピリン	最も臨床で使用された古い薬、作用時間が7-10日、拮抗薬なし	製品名	プラザキサ	イグザレルト	エリキュース	リクシアナ	ワーファリン
クロピドグレル	アスピリンよりクロピドグレルが脳卒中予防効果は高い、作用時間が7-10日、拮抗薬なし	薬品名	ダビガトラン	リバーロキサバン	アビキサバン	エドキサバン	ワルファリン
シロスタゾール	作用持続時間が48時間と非常に短く調整性が高い、	標的因子	トロンビン	第Xa因子	第Xa因子	第Xa因子	ビタミンKエポキシド還元酵素
エフィエント	作用時間は7-10日	半減期	12~14時間	5~13時間	8~15時間	10~14時間	40時間
		最高血中濃度到達時間	0.5~2時間	0.5~4時間	1~4時間	1~3時間	4~5日
		腎排泄	80%	36%	27%	50%	なし
		内服回数	1日2回	1日1回	1日2回	1日1回	1日1回
		採血によるモニタリング	×	×	×	×	○
		中和薬	開発中	開発中	開発中	開発中	あり

作用時間が短いと飲み忘れるとどうなる？

文責：脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 寺本清美